



only me

俺

R18
ADULT ONLY

だけ

elena

ouno m

の
ら
の



俺だけのΩ

本編・・・5

おまけ・・・59

あとがき・・・70

恵太くんって
全然Ωっぽく
ないよねー！

昔から
よくそう
言われていた



そして今日
βになった

山村恵太
さん

あなたの
β変異が
変異しました



ありがとうございます！

がし

おめでとう
ございます
...？

おかしいと
思ってた
んだ

こんな
平凡な僕が
Ωだなんて





学校では
βで通して
いたから：

特に変化は
ないん
だけどね

けーいちちゃん♡



今日から
普通の人
だ!!

…と
いっても



がばっ



最近よく
僕に
ちよっかいを
かけてくる

昨日休んだ
でしょ?
さみしかったです

病院に
行ってた
から…



おはよー♡

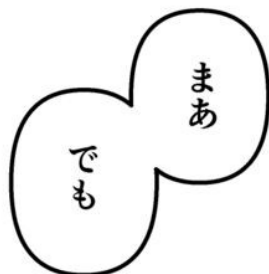
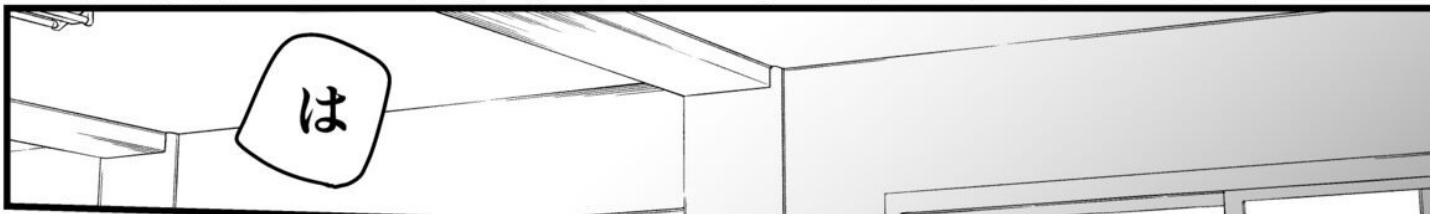
この人は
クラスメイトの
一条恭也くん



病院?

なんで…







忘れたなら
思い出せば
いいよね

ぐいっ

あ
や
んっ
ちゅっ



ちよ
ちゅっ



どうして
こんな
こと…



やめて!!

恵太のことが
好きだから











馬鹿正直に信じる
けいちゃん
かーわい♡

何もしないって
言っただじやん
かあ!!



この匂い...
何も考えられ
なくなる!!

ねえ
あ
戻ろに?



俺だって
手に入らない
ものだって
あるよ

え...?

一条くんって
欲しいもの
何でも手に
入るでしょ?

僕じゃ
なくても...

ダメだ
気をじっくり
もたないど



それが
恵太だって

思ったん
だけどな



運命の番♡

もしかして
茶化してる？

じと...



いや
冗談じゃなくて
マジで



それは...



あ
もう
時間だ！

延長で

しない
から!!

不思議な人
だと思った



終了まで残り15分です
延長する場合はご連絡ください



どこか……



クラスの
人気者で
何でも
できる彼
だけど



僕も
心配だなあ

僕はや
……



最近一条に
絡まれて
いるだろ？

恵太も
大変だなあ



さすが
Ω……

かわいい……

同じ中学校
だったんだし

なんでも
相談して？

宮内滯くん……

宮内くんは
僕の本当の
バース性を
知っている……

何かに
媚び
売ってんの？

出来損ないの
Ωのくせに



ごめん
今日病院
行かない
と……

帰ろー
いちゃん



っ……



Ωですら
ないとい
うのに



そもそも
僕はもう

分かってるよ
自分が
劣っている
ことぐらい





きつと
誰も！

僕がΩに
なつたつて



これを機に
しつかり
考えてみると
いいですよ

βになるのか
Ωに戻るのか



まあでも

ノ
ア
ノ
ノ



山村さんは
フェロモンの
影響を受けにくい
体質ですから

急にΩに
戻ることはない
と思えますよ

それこそ
運命の番が
現れない
限りはね



あれ...?

じゃあ
あの
甘い匂い
は...?!

だからと
言っただけ
性行為は
ダメです
からね!

はい...



早くも
貞操の危機—!?

って
言われて
いたのに…

一条くん!?



ごめん
もーちよ
このまま

薄いけど…
恵太の
フェロモン
なんか?

嗅いでいると
たまらない
気持ちになる



僕のどこを
好きになった
の?

ヒキ
一条くんは
キキ
さ…



だから匂いが
なくなった時

マジで
焦った


あの時
の…






だからいつも
少し寂しそう
だったんだね

それはきつと
皆から一線を
引かれていた
から



君の悩み
全てを理解
することは
できないけど



話を
聞くぐらいなら
できるからさ

僕でよければ
いつでも話を
聞くよ



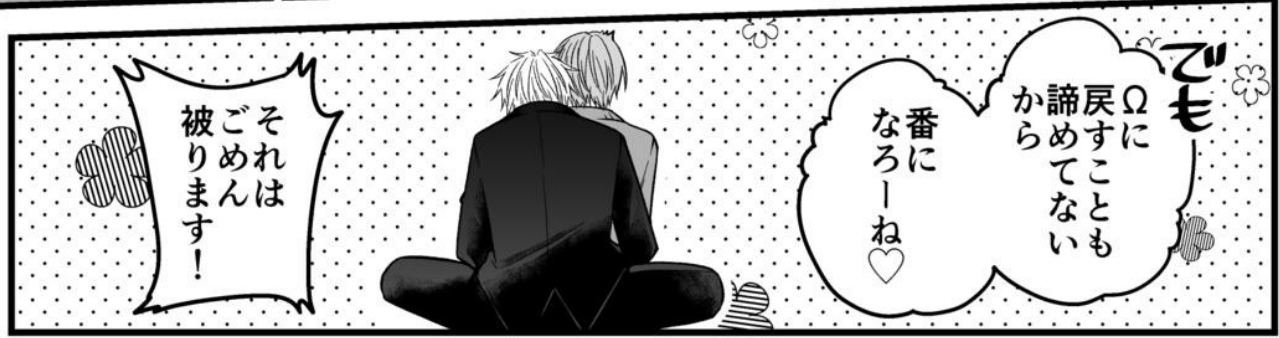
あーもう
本当に
大好き!!

Ωじゃ
なくてもいい...

俺と
一緒に...

くっ!?

ゆー
ゆー



でも
Ωに
戻すことも
諦めてない
から

番に
なるーね

それは
ごめんは
被ります!



...と
言いつつも

まっすぐに
好意を
伝えてくる
一条君に

少しずつ
惹かれて
いる
僕が



と…
一条くん
宮内くん？



あれ…？

キーン…コーン…
カーン…コーン…



どうして
二人で…



…なんだか







恵太は
違った

俺の本心を
見抜いて
寄り添ってくれた

だから俺は
好きになった



ああ…
どうしよう



Ωとか
男とか
関係ない

恵太だから
一緒にいたい

俺は
恵太を
愛している

僕
一条くんのことが
好きだ

バース性も
性別も
関係ないって

ありのままの
僕を好きだって
言ってくれる

そんな君が
どうしようもなく
好きだ





あの一件以来

僕は

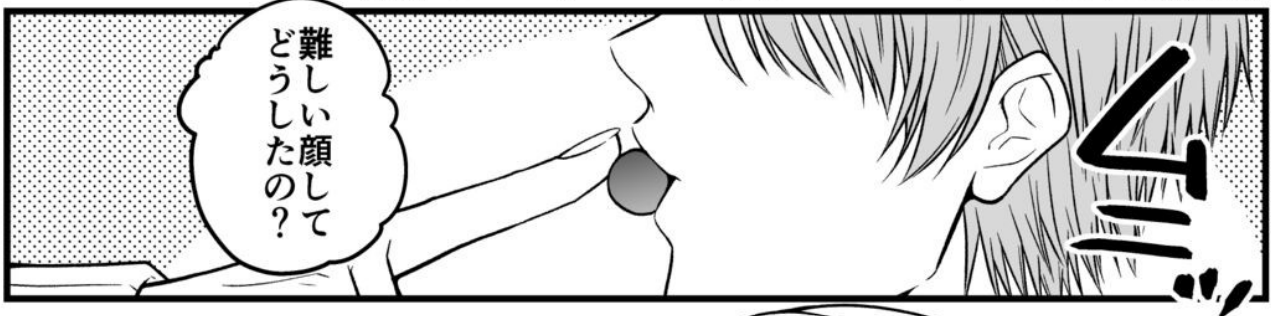
一条くんと
うまく
話せないで
いる

顔を見ると
テンパって
しまつて…

ちゃんとして
一条くんに
好きだつて
伝えたいのに…



難しい顔して
どうしたの？



宮内くん…

あま…



何事も
当たって
砕けろだよ
甘いもの
食べて
元気だそ？

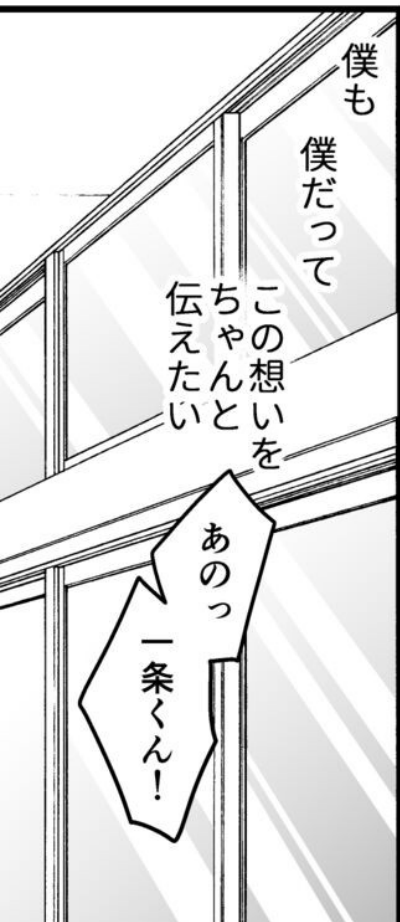


勝手に
苦手を
持っていた
けど…

そんなに
嫌な人じゃ
ないのかも

ちけ
ちゃん





一条くんの
ことが
好きっ……!!



あのね…

え……?



でも一条くんが
Ω性関係なく
僕自身のことを
好きだっって
言ってくれて

とても
救われたんだ



ずっと
自分のΩ性が
嫌いだった

可愛らしくない
僕がΩだなんて
っ……



αとβじゃ
報われない

それ
だつたら
僕は

一条くんが
そばに
いてくれるなら

Ωに戻っても
いいって
思ったんだ



早く
シエルターに
逃げる

…恵太
発情
しかけてる



「さつきから
臭いフェロモン
撒き散らして
さあ」

「すげえ
不愉快
近づかないで
くれる？」

近寄るな!!

あ



発情…

僕Ωに
戻った…？

一条くんっ…



惠太!!



Ωになっても
好きな人に
受け入れて
もらえないなんて

ああ



僕は
どこまで
いっても

出来損ないの
Ωだ

僕の
フェロモン
そんなに嫌...?

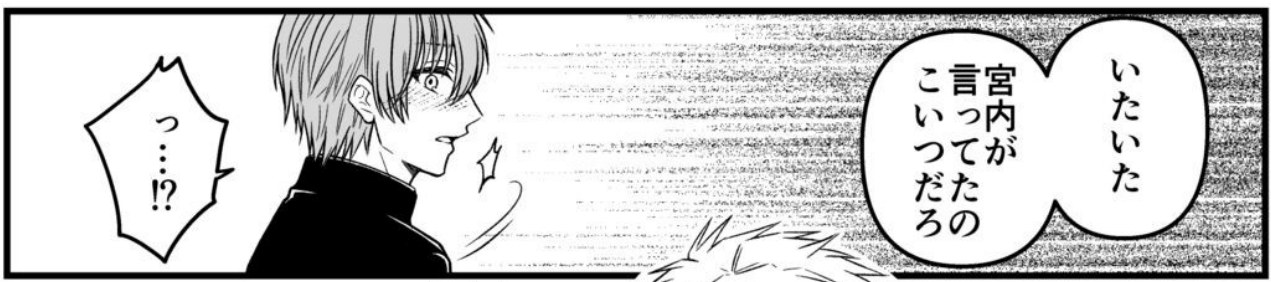




Ωに意味
ななかったな...



体が熱い...
これが発情期...



っ...!?

いたいた
宮内が
言ってるの
こいつだろ



発情剤...?
なんの
こと...?



発情剤
飲ませて
Ω





カッ
カッ
カッ

一条くん…？



佐藤信夫

中村和

そして
宮内滞







ありがと…

ここにいれば
もう大丈夫
だから

非常エンジェル
ダ



…



恵太…



僕のこと…
嫌ったに…?
…

それじゃ…

待って!!



違う!!

我慢
できない
だ!

お前と一つに
なりたいって
本能が求めてる!!

やっぱり恵太は
俺のー!...



嫌われて
なくて

...よかった



もし

僕だけを
愛してくれる
のなら



僕も...
そんなΩに
なりたかった



本当はね
憧れていたんだ

無条件で
愛されるΩに

君だけの
Ωになる





一生かけて
恵ただけを
愛すから

俺だけの
Ωになつて

うんっ

約束……

…本当に
いいの？

大丈夫

怖くない？
さっきの
ことも
あるし…

かわいすぎる…

怖いから

それより
—一条くんだけの
方が
Ωじゃなくなる



恵太
あいつらに
触られたところ
どこ？



優しくするから
俺に身を任せて？

お腹
とか…

乳首
とか…



分かった

わんわん!?



俺以外の野郎に
触られてんのが
許せねえんだよ

ハイ…



だから
上書きする

あっ



気持ち
よくて

どうにか
なりそう



あの人達と
全然違う

あつ
い。



あ、あ、あ、あ
言わなくて
いいから！

もう
こんな
なって
る

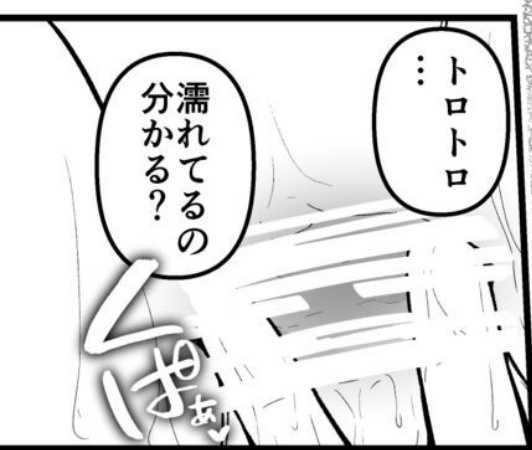
びびり



恵太
気持ちいい？



じゃあ
ズボン
脱いで
後ろ
向いて



トロトロ

濡れてるの
分かる？

お



ひっ
本
濡
る
ん
だ

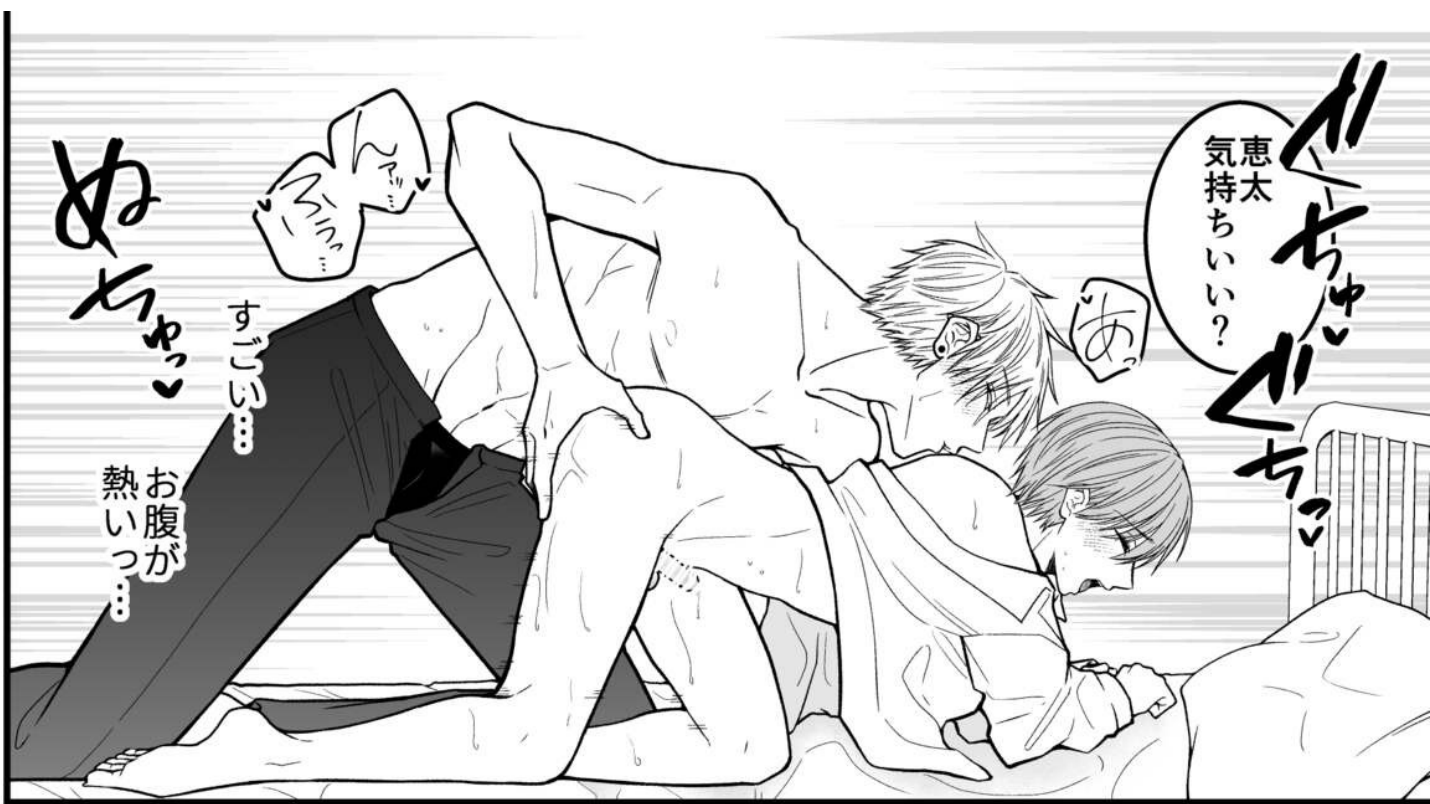


初めは
バツが
いいからさ

キツく
なったら
言

うん…

息を
抜いて…



惠太
気持ちいい？

ぬちゅい
すいすい...

お腹が
熱いっ...



ひあっ
♡♡

クソッ
クソッ



惠太
ごめん

もう
我慢
できない

怖くなったら
逃げて

一条くん...

自分だって
相当辛い
はずなのに

どこまでも
僕を
思ってくれる
なんて…

そんな
君が僕が…

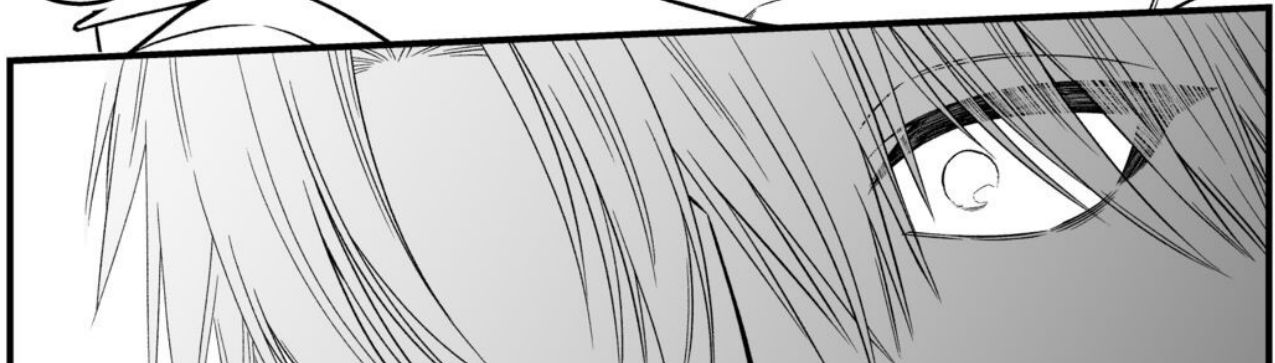
怖くない
よ

君のことが
大好きだから

早く
番になる？

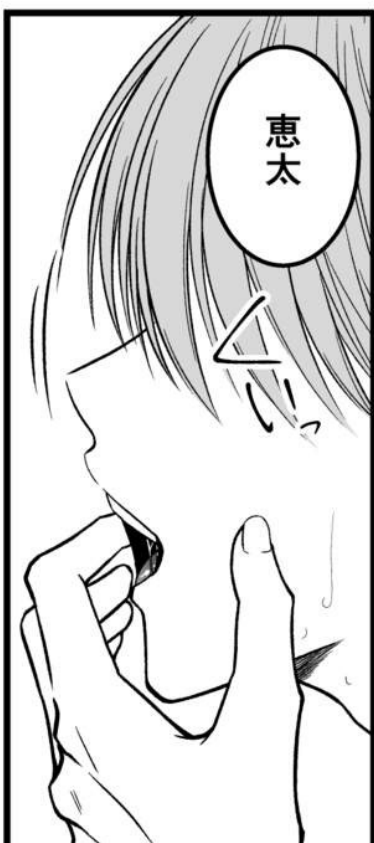
恭也くん

ズル…





あついでい あついでい ホッ ホッ あついでい

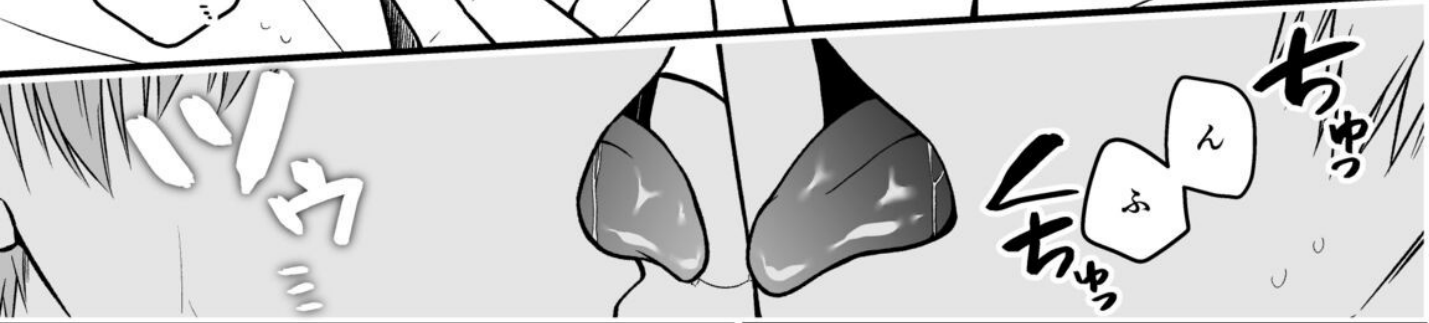


惠太



体が
おかしく
なった

こんな
の
知らない





好きだ

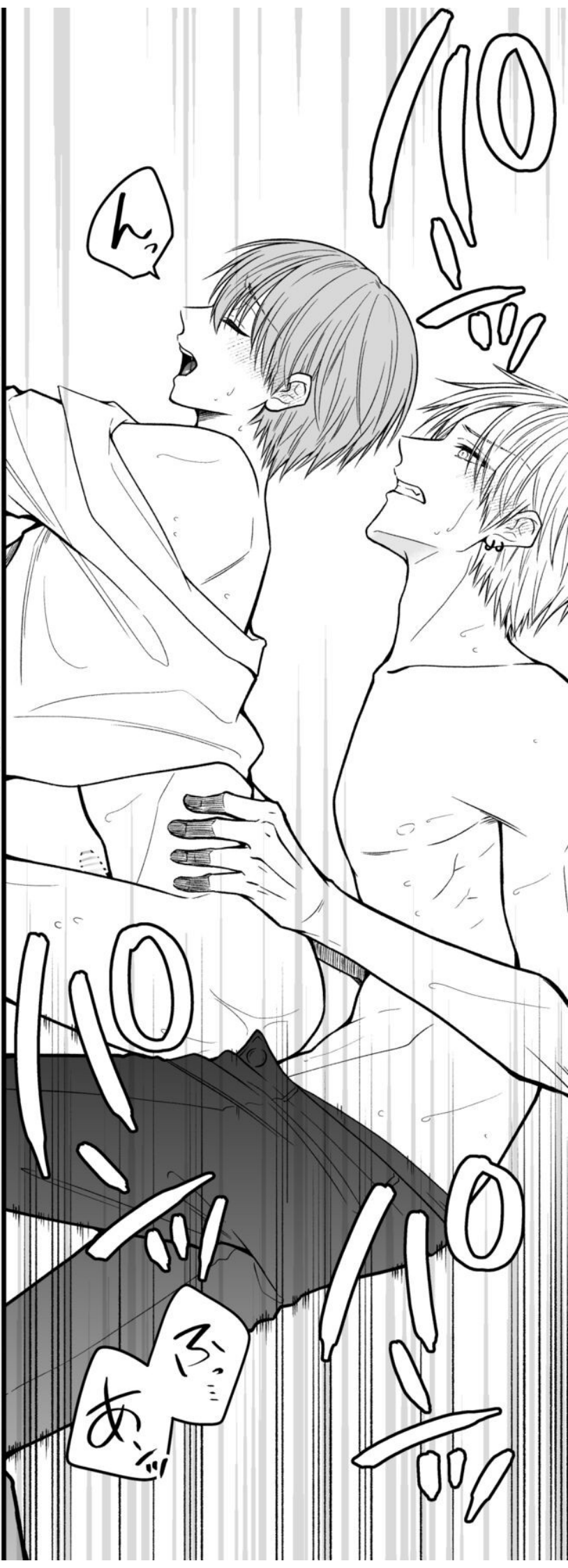
愛している



ああ
嬉しいなあ

まるで
欠けていたものが
満たされるような

恵太



ん

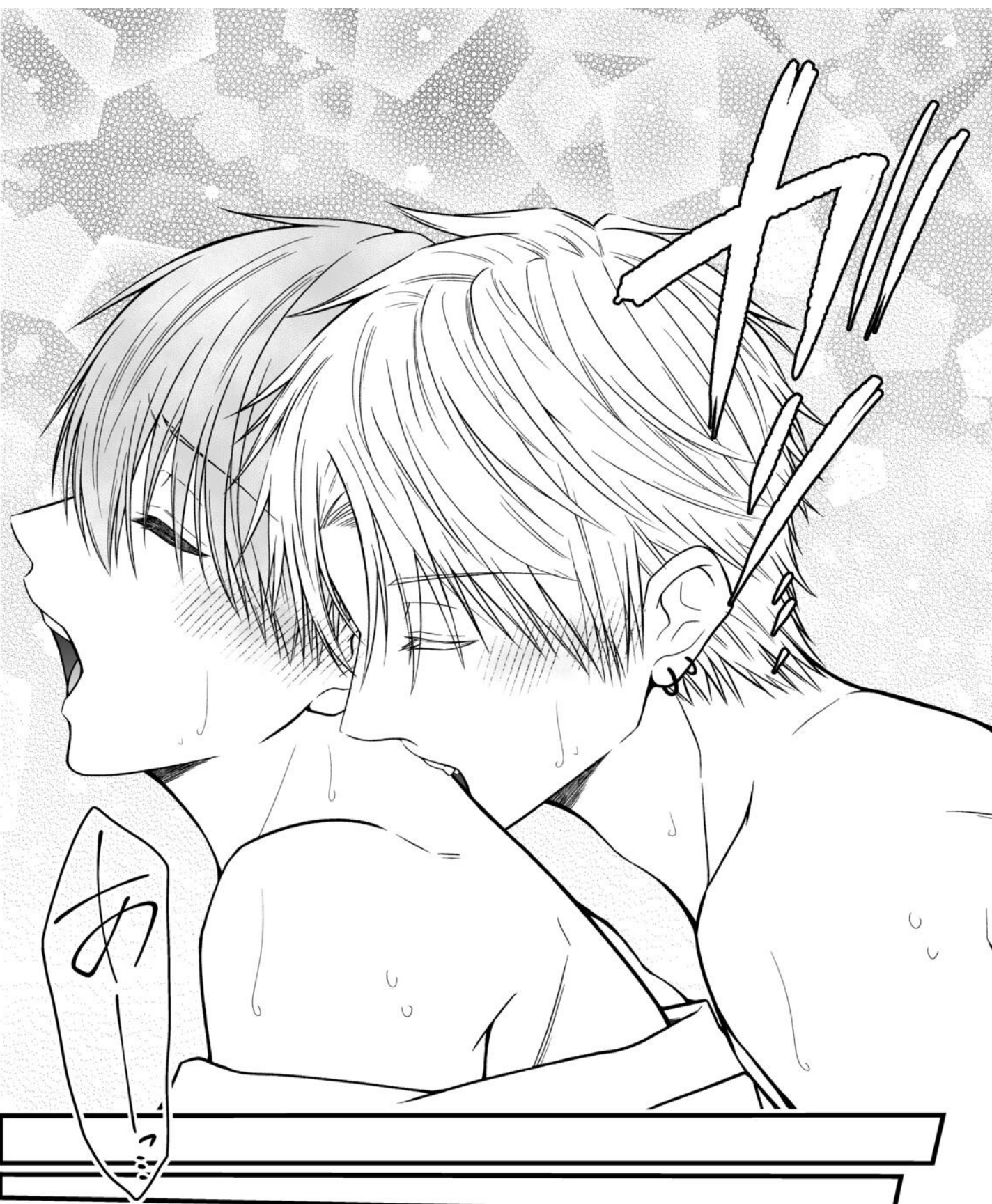
あ

うなじ
噛みたい

噛んで
いい?

やっと
一つになれる

うんっ



誰も使
うだ
し

じい
やね
ん？

非常
用
シ
ェ
ル
タ
ー
で
こ
ん
な
こ
と
し
て
よ
か
っ
た
の
？

はー！
運命の番
分かんなかったとか
情けなさすぎる…

仕方ないよ
僕のバース性
不安定だったし

それに恭也くんは
ちゃんと気づいて
くれたよ

僕が
Ωだつて
分かつたの

恭也くん
だけだもん

これからも
僕を
見続けてね？

ああ

もちろん…



実は
そうなんだ

恵太って
Ωだったの!?

もうΩだって
隠す必要は
ない

えっ!?



ちぎとー
俺の恵太に
話しかけないで
くれるー?

のしっ



ひみつ



モ
恭也くん
学校でそういうこと
言うのやめてって
言ったでしょ

は!?!
俺のって...!?





はー！！

もう本当
心配

番ってから
一段と
可愛くなってん
だもん

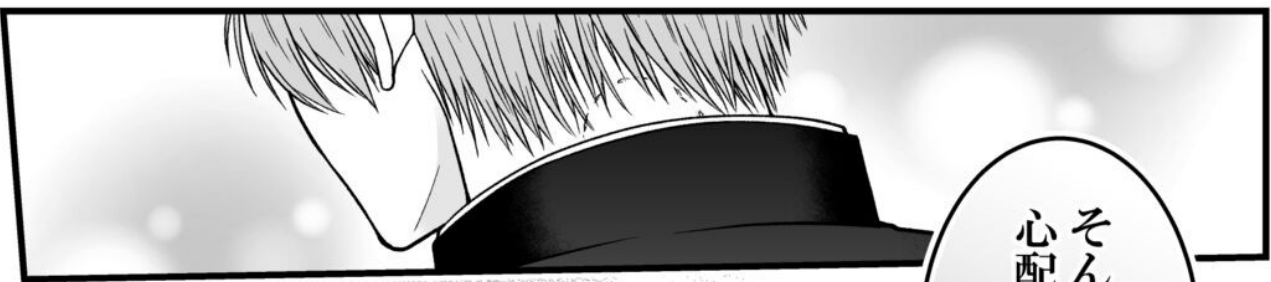
あはは

それは
無理だよ



恵太

俺以外と
仲良く
しないで



そんなに
心配しないで



僕は君だけの
Ωだから

一条 恭也

8月15日生まれの16歳
獅子座
B型

実は大企業の御曹司
しかし本人は継ぐ気もないし
両親も継がせる気はない

山村 恵太

1月31日生まれの15歳
水瓶座
A型

ごくごく普通な
βの一般家庭育ち
Ωになったのは
隔世遺伝(曾祖母がΩ)



俺は
一ちゃん
がいる

3コ上で
今イギリスに
留学してんの

えいっ！
すごっ！

僕
は
妹
が
一
人
い
る
よ

俺だけのΩは高校1年生の2学期あたりのお話

おまけ
一条家へ訪問!

溺愛
されてるな…

なん
つか…

恵太のこと
見ないで
くれる?

まあ…
これは
僕のせいでも
あるから…

俺らめっちゃ
警戒されてる
よね
何が
あつたかは
聞かない
けども

それより
恵太
覚えてる?

え?

恭也くん
僕の友達と
仲良くなつて
ほしいな
恵
恵太が
言うなら
そうする
恭

最早
猛獣使
じゃん
恭

今週の
土曜日の
こと

俺ん家
来るって
約束のこと

土曜日

…
二

二れが
恭せくんの家…？



もしかして
ヤがつく職業…

違う違う

親が
一條ホール
ディングスって
会社経営してんの





大企業じゃないかーっ!!



もしかしてあの車とか作っている...?

そうそう そのこの創始者が俺ん家の



恵太 かーわいい♡

おんがのばか おんがのばか

おんがのばか

なんで教えてくれたの!!



やっと来たわね!

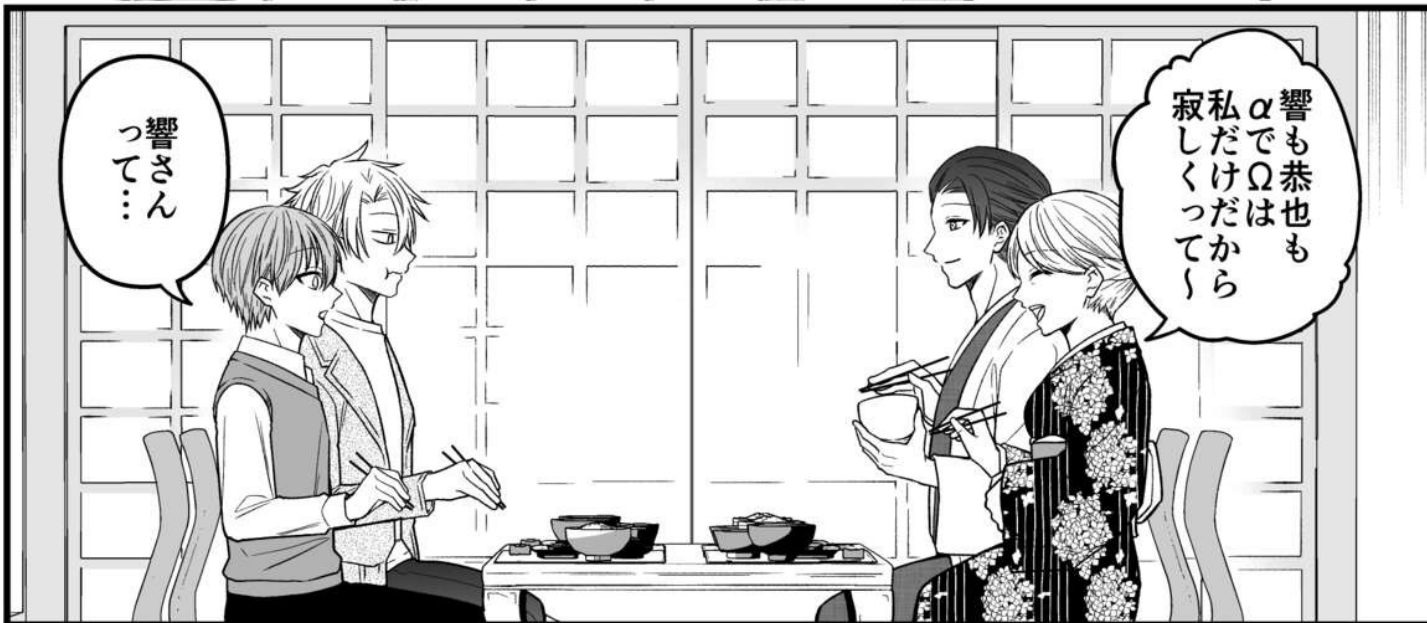
大丈夫 二人ともそういうの気にしないし

大丈夫

どうしよう: まともなお菓子持ってきてない...









ただピアス
ばしはじめた
開け始めた
時は

もう悪いΩに
引つかかかって
終わりがかた
思ってたけれど

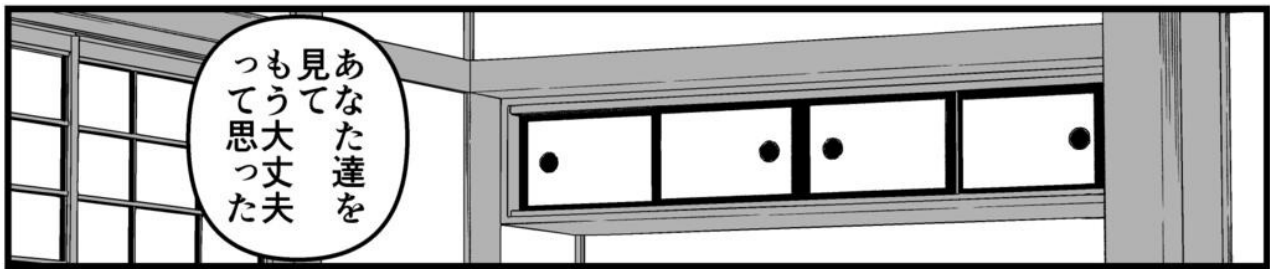
うるせー



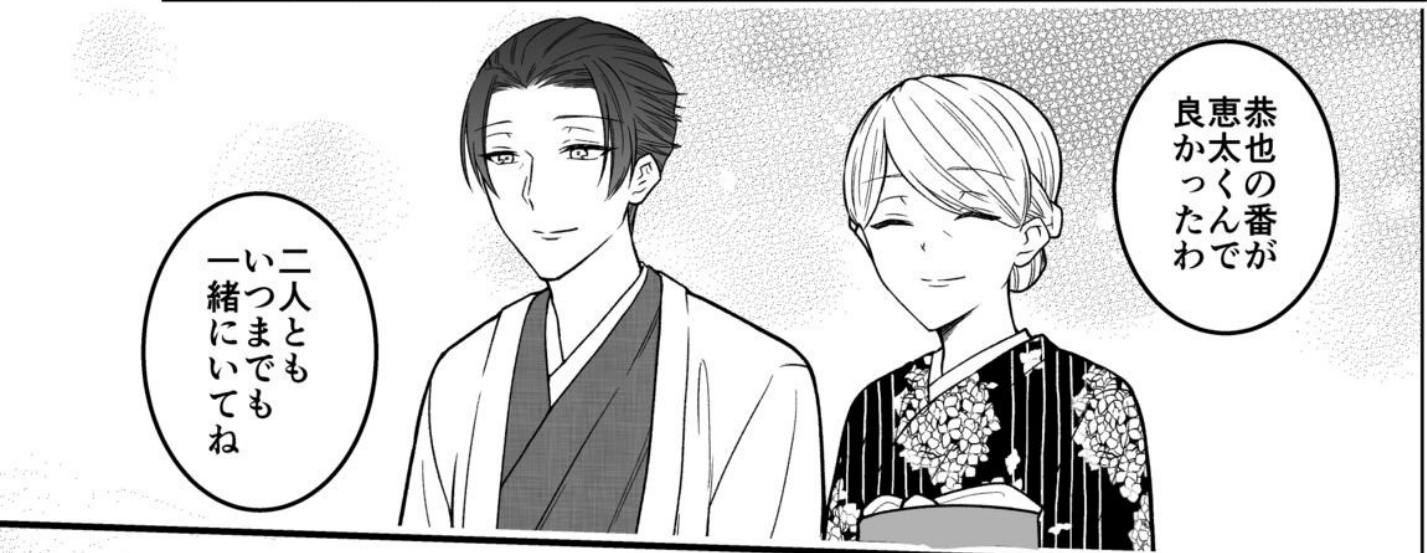
恭也は
家柄のせい
距離を置か
れる
ことが多く
てね

寂しい思いを
させていたの
思っていたの

だから
できるだけ
自由に
させていたわ

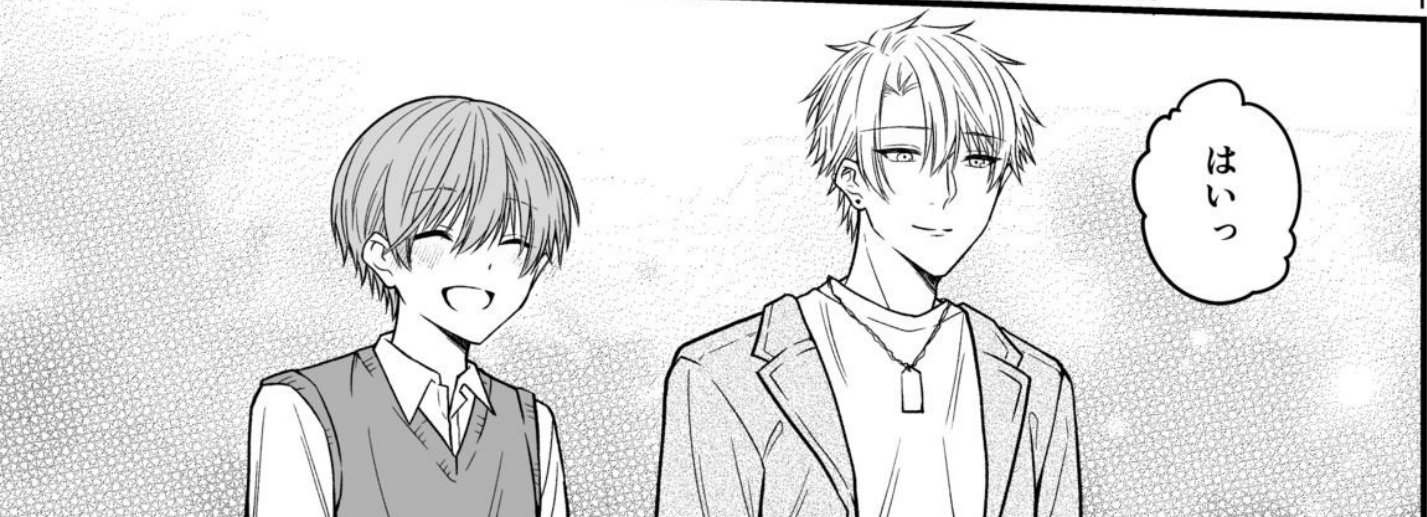


あなた達を
見て
もう大丈夫
って思った



恭也の番が
良恵か
ったんで

二人とも
いつまでも
一緒にいてね



はいっ



ああ
自慢の
両親
だよ

とても
素敵なお
両親
だったね



恵太に
実家を
教えて
もらった
のせいで
なんだ

…俺さー
一条家の
ご子息
って
言われる
事が
嫌でさ



本当に
感謝
し
か
な
い
よ



こんな
俺の
気持ち
を
慮
つ
て
く
れ
て
自
由
に
行
動
す
る
こ
と
を
許
し
て
く
れ
た



惠太とも
番になれたし

それに

グッ
グッ



俺の部屋に
来たのにな
何もいっし
ないっしよ
は？

ご両親が
いるのにつ
グッ
グッ



惠太
目を
閉じて……



子作りは
社会人に
なつてからよ?

やっぱ
うぜーわー

帰る際
すごく
惜しまれた

恵太くん
帰らないで
ほしいわーっ

けいちゃん
俺の家で
一緒に住も?

イケメン!!

惠太くんと
お付き合いさせて
いただいている
一条恭也です

息子さんを
僕に下さい

誰...?


いや
皆を呼ぼう!!
宴会だ!!

じいちゃん
ばあちゃんに
伝えないと!!

惠太が
イケメンの
彼女連れてきた
ぞ!!

いや俺
こういう雰囲気
好きだから
大丈夫

ごめんね
恭也くん...



あとがき

この度は「俺だけのΩ」を手にとっていただきありがとうございます。

作者のもうのです。

この話は初めてオメガバースに挑戦した話でした。

それなのにΩからβに変わるという特殊設定にしてしまい

いろいろ悩みながら描きあげたのを覚えています。

結果的に二人を幸せにできて良かったなとほっとしています。

この話以外にも様々な話をツイッターやピクシブにアップしていますので、遊びに来ていただくと嬉しいです。

またご縁がありましたらよろしく願いいたします。

発行日：2022/09/04

発行者：もうの

連絡先：mouno0051@gmail.com

ツイッター：@mooooouno_n

表紙デザイン：吉川 夏子 様

印刷：株式会社栄光 様

